



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

予選レポート

2010/11/12 JAF グランプリ 富士スプリントカップ

天候：晴れ 気温：18℃ 出走台数：15台

大混戦で終えた 2010 フォーミュラニッポン最終戦鈴鹿サーキットから 1 週間、20 年ぶりとなる JAF グランプリとして、富士スプリントカップが開催された。

富士スプリントカップは、その名の通りレース距離 100km (22 周) ピットインなしの超高速バトル。フォーミュラニッポンとスーパーGT、国内最高峰のレースが 3 日間にわたり同日に開催される。

レギュラーシーズンと違い、予選は 1 台ずつアタックするスーパーラップ方式。

アタックラップのストレート最高速度で第 1 レースの、ラップタイムで第 2 レースの、スタートグリッドを決定する。

最高速狙いでダウンフォースを削るといった奇策ではなく、あくまでトータルバランスによるベストタイムを狙う方針で臨んだフリー走行では、デュバル選手が 2 位に 0.7 秒差をつける圧倒的速さで 1 位を記録。伊沢選手もセットアップを確認しながら 8 位で終えた。セットアップは「過去最高の出来」とデュバル選手がコメントするほどの自信を持ってむかえたスーパーラップ。5 番目にコースインした伊沢選手は計測時点でトップタイムをマークするも、最高速は伸びず 298.178km/h。

13 番目にコースインとなるデュバル選手は慎重にタイヤを温めながらアタックラップに入る、第 1 計測区間をまずまずのタイムで通過した直後、デュバル選手はエンジンの不調を感じ、アタックを止めることになってしまった。

結果 3 台の違反車両がいたことから、デュバル選手は第 1 レース、第 2 レース共に 15 台中の 12 番グリッドからスタート。伊沢選手は第 1 レース 11 番、第 2 レース 4 番グリッドからのスタートとなった。

1：ロイックデュバル選手 レース 1 予選 12 位、レース 2 予選 12 位

フリー走行でベストセットアップを確認できたので、スーパーラップではポールポジション獲得以外考えていませんでした。燃料系のトラブルが発生しアタックする事が出来ず、思いもしない結果となってしまいました。明日・明後日のスプリントレースは 1 周 1 周を予選と思って完全燃焼します。

2:伊沢拓也 選手 レース 1 予選 11 位、レース 2 予選 4 位

アタックラップの第 2 計測区間でブレーキをロックさせてしまい、思うようにタイムを伸ばせませんでした。完璧とは言えませんが車のバランスは良く、ただ最高速はもっと欲しかったですね。2 日間のスプリントレース 22 周を全開で攻めて、速さをアピールして 2010 シーズンを締めくりたいです。